

(別紙)

## 耐震計算の誤入力に係る再発防止対策の実施状況

2019年4月  
日本原燃株式会社

## 1. はじめに

2007年8月21日、当社社長は、青森県知事に再処理施設における耐震計算の誤入力に係る報告を行い、2007年8月31日、青森県知事から以下の4項目について要請を受けた。

- (1) 耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査の実施
- (2) 風通しのよい職場風土の醸成及びコンプライアンスの徹底
- (3) 耐震計算誤入力の件についての広聴広報活動の実施
- (4) 日本原子力技術協会による当社と協力会社との連携についての評価

これら4項目について、2019年1月から2019年3月までの実施状況を以下に報告する。

## 2. 実施状況

### (1) 耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査の実施

計算機による設計解析を行う安全性評価業務が新たに発生した場合に、耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査を実施することとしているが、当該業務は発生していない。

### (2) 風通しのよい職場風土の醸成及びコンプライアンスの徹底

#### ①風通しのよい職場風土の醸成に関する活動について

不適切な労働時間管理が発生したことを重く受けとめ、再発防止のために策定したアクションプランに基づき、現場の実態把握や再発防止策に関する経営層同士の対話活動、ならびに経営層と社員との対話活動を実施した。

#### ②品質保証マネジメント会議

第25回品質保証マネジメント会議を2019年3月26日に開催し、当社における安全への取組みについて説明し、共通認識と連携を図ることを確認した。(協力会社63社が参加)

#### ③コンプライアンスの徹底に関する活動について

第2回コンプライアンス推進委員会(2018年3月20日開催)で策定した「2018年度コンプライアンス推進活動計画」に基づき、階層別研修等、従業員の意識・知識の向上等に向けた活動を実施した。

特に、不適切な労働時間管理が発生したことについては、策定したアクションプランに基づき、労務管理研修の実施や早急に対応すべき課題がある組織の構造改革等、働き方改革本部が中心となって全社を挙げて取り組んだ。

また、第4回コンプライアンス推進委員会を2019年3月13日に開催し、2018年度の活動を振り返るとともに、コンプライアンス違反事象の防止および発生時の適切な対応を柱とした「2019年度コンプライアンス推進活動計画」を策定した。

(3) 耐震計算誤入力の件についての広聴広報活動の実施

耐震計算誤入力の件については、新聞広告や当社広報誌、地域会議などを通してお知らせしている。(2007年10月29日に報告済)

今後も当社事業全般に関して様々な広聴活動を継続するとともに、頂いたご意見を踏まえて、わかりやすい広報活動に取り組んでいく。

(4) 日本原子力技術協会による当社と協力会社との連携についての評価

2007年12月27日に日本原子力技術協会(現 原子力安全推進協会)より受領した「協力会社との連携に関する特定評価」における改善要望に対する当社の取組み状況の確認結果について、2009年2月3日に日本原子力技術協会より報告を受けた。(2009年4月16日に報告済)

今後、改善要望に対する取組み状況について然るべき時期に改めて確認を受けることとなっている次の項目については、以下のとおり対応している。

- ①「協力会社に発注した業務の管理」
- ②「協力会社とのコミュニケーション改善」
- ③「言い出せる文化・職場風土の醸成」
- ④「コンプライアンス(企業倫理遵守)の取組み」

上記の①の項目については、「業務に精通した主管部署や品質保証部の監査への積極的な参加」や「工事を伴わない解析業務の一貫した管理のルール化」等、確実な設計管理を行うための仕組みを構築し、運用している。

上記の②、③、④の項目については、前述の「2.(2)風通しのよい職場風土の醸成及びコンプライアンスの徹底」において取り組んでいる。

以上